

朝夕はだいぶ涼しくなり、さわやかな風を感じる季節になりました。

セミの鳴き声から鈴虫の鳴き声に変わり、日増しに秋の気配が深まってきております。鈴虫といえば、鳴き声が細かく鈴を振るようだというので鈴虫と呼ばれておりますが、古くから鳴き声を楽しむ対象とされ、平安時代から貴族の間では籠に入れ楽しまれていたそうです。

「源氏物語」第二部にも「鈴虫の帖」というものがあり、その頃から鈴虫などの音色を愉しんでいたことが伺えます。あまり出回っていないので気がつかないかも知れませんが、二千年札の図柄には「源氏物語絵巻」第三十八帖「鈴虫」が採用されています。

スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋。秋を迎えて何か新しいことを始めたくくなります。どんな秋をすごそうか、プランを立てる楽しみも増えますね。



当社ホームページのご紹介！

近年、インターネットでのお部屋探しが主流となってきております。より多くのお客様にご覧頂ける様、『見やすいページ』『情報量の多さ』を心掛けて製作しております。

〈トップページ〉

〈各店舗おすすめ物件紹介〉

画像をクリックすると・・・

各店舗の担当者が周辺環境や各設備のおすすめポイントをコメントや室内写真・間取り図でわかりやすく紹介をしています！

おすすめリフォーム物件の紹介ページ

こちら各担当者がおすすめポイントと共にリフォーム物件の紹介しております。

室内の状況が良く分かる様に、間取り・細かな室内写真を用いて、おすすめするポイントが伝わりやすい様にご紹介しております。

スマートフォン専用サイトも設立！

他にも・・・

窓口にiPadやタッチパネルを設置して、利用して頂いています。

社員ブログも日々更新中！

社員がブログにて旬な情報を毎日配信

毎日更新しています。多くの方にホームページを見てもらうきっかけを作る為に、多岐に渡る内容で記事を書いています。

☆皆様もぜひ当社のホームページをご覧ください☆

土浦全国花火競技大会

【平成23年開催概要】
 【開催日時】平成23年10月1日(土) 午後6時～8時30分頃 ※荒天延期
 【開催会場】桜川畔(学園大橋付近)

【歴史】
 大正14年神竜寺の住職であった故秋元梅峯師が霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰霊と不況にあえぐ商店街復興のため、私財を充てて霞ヶ浦湖畔で花火大会を開催した事が始まりです。社団法人日本煙火協会前身、日本煙火工業会の会長を長く務められた本市出身の花火師、故北島義一氏によって宮々と育まれてきました。
 土浦の花火大会の特徴の一つとして秋に開催していることが挙げられます。これは実りの秋を祝い、農民の勤労を慰めるという趣旨から、商店街が農村に対する日頃のご愛顧に報いる感謝の意味でもあります。



秋の七草について

「春の七草」は無病息災を願って「七草粥」として食べますが、「秋の七草」は観賞して楽しむ植物です。万葉集で山上憶良が下の2首を詠んだ事が始まりとされています。

「秋の野に 咲きたる花を 指折り(おゆびおり) かき数ふれば 七種(ななくさ)の花」
 「萩の花 尾花葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝顔の花」

